

第22回 コムズフェスティバル 市民企画分科会 実施報告書

グループ名	ウィメンズカウンセリング松山
開催日	2021年2月6日
テーマ	気持ちが通じないパートナーとの付き合い方 ーカサンドラ愛情はく奪症候群にならないためにー
形式	講演会
講師等	フェミニストカウンセラー：清野初美 他、WCMスタッフ数名

〈内容〉

当初、ワークショップの予定であったので、参加者の体験を語り合ってもらうことで色々話題を広げていく予定であったが、参加者なしでの開催に変更になったので、こちらから講演という形で、カサンドラ愛情はく奪症候群に苦しんでいる人や、予備軍であるかもしれない皆さんへ、パートナーとの付き合い方を変えていくために必要なことを話させていただいた。

「女性相談20年の経験で、女性たちの悩みの中心が配偶者と気持ちが通じないことにあることを知った。気持ちが通じない両親のもとで育ったことで、生きることに関難を感じている人たちのことをアダルトチルドレンと呼ぶが、その連鎖を止めるためにも、パートナーと気持ちのすれ違いにどう対応するかは、極めて重要なことであり、個人を超えて社会的課題である。配偶者に自閉症スペクトラムがある場合、妻たちは共感力を持たない夫、相手の立場に立てない夫との関係に悩み苦しむ状態となる。その状態を「カサンドラ愛情はく奪症候群」と呼ぶこと。そこから脱出し、コミュニケーションが難しいパートナーとどう付き合うか、それには、パートナーの発達特性について深く学び、自分を大切にすること、自分を優先すること、自分軸で問題を見ること、そのうえで自助グループへの参加や、たくさん出ている体験者の経験を書いた本などで学んでいくことが必須であることをお伝えした。



〈まとめ〉

カサンドラの苦しみを語り合う自助グループも全国ででき始めており、愛媛県でも作りたいという話を今までウィメンズカウンセリング松山主催の日曜講座等でたびたび話題にしてきた。一般の方にも、ご自分の状態が「カサンドラ状態」であることに気づき、一人で悩まず、同じ悩みで苦しむ人との、共感、連帯の場が必要であること、自助グループの必要性を広く認識していただくことを、大きなテーマとした。時間の関係で、発達障害や自閉症スペクトラム、アスペルガー等の説明に時間を要したために、自助グループの果たす役割への気づきまでには十分には言及できなかった。カサンドラの方たちの自助グループ作りへの、小さな布石になればと希望したが、その目的が果たせたかどうかはまだ手応えは帰ってきていないが、一般の方にもCATVを見ていただけたのなら、うれしい限りであるが。